

社会福祉法人青野ヶ原福祉会（拠点区分青都荘）事業報告書

実施した事業の概要

令和3年度において拠点区分青都荘で実施した事業の概況は次のとおりです。

青都荘では特別養護老人ホーム青都荘（特養）、同ショートステイ、デイサービスわかば、青都荘ケアプランセンター、青都荘訪問介護ステーション、青都荘訪問看護ステーション、介護士実務者研修事業の7事業を実施しました。

◇ 特養青都荘は年間通して90名の入居定員で、令和3年度は延べ30,900名 94.1（%）がご利用していただきました。新規での入居は25名、退居は22名（看取り12名）でした。新入居の条件としてPCR検査の実施が必須となりました。1月には新型コロナウイルス陽性の入居者がおり、感染対応を実施しました。

◇ ショートステイは定員10名で営業区域である3区（都島区、城東区、北区）からご利用いただいております。令和3年1月に発生した新型コロナウイルス陽性者拡大もあり、令和3年4月末までショートステイを閉鎖しておりました。稼働後は、入所時にPCR検査の実施をお願いし、隔離期間を設けての利用をしていただきました。上半期は1日平均も4.2人程度となりましたが下半期通常通りとなり、延べ2,386名（実数181名）となりました。

◇ デイサービスわかば定員21人でスタートしましたが、感染防止の観点から安全定員基準を決め16人程度で稼働することとなり、そのため令和4年3月より地域密着型通所介護へ変更しました。令和3年度は延べ5,290名の方々に利用していただきました。

◇ 青都荘ケアプランセンターは在宅で介護を必要とする高齢者に介護サービスを実施するため各事業所と連携し、高齢者支援を実施しました。令和3年度では延べ1,277名（要支援者除く）の方々の支援を行いました。

◇ 青都荘訪問介護ステーションは在宅で介護を必要とする高齢者に生活支援・介護サービスを提供してきました。新型コロナウイルス感染拡大防止の影響で在宅での家族支援が増えサービスが激減し、延べ6,798名の方々にご利用をいただきました。

◇ 青都荘訪問看護ステーションは在宅で医療と介護を必要とする高齢者に生活支援・介護サービス・医療サービスを提供してきました。また、看取りケアや緊急対応も積極的に実施しました。延べ2,952名がご利用されました。

◇ 実務者研修事業は国家資格である介護福祉士を取得するための重要な資格で今年度7名の受講者でした。

各事業でサービスを提供するにあたっては、法に定められた事項を公正に実施し、当法人理念の個人の人格・人権を尊重し、利用者に青都荘で生活する喜びを、そして職員には働く喜びを実感していただく、職場環境を醸成するため、次の主な事項を実施しました。

ISO9001導入による品質向上

- (1) 資格取得の推進
実務者研修 6名

- (2) ISO内部監査
実施回数 22回
ISO審査 1回

◇ 令和3年度はISO9001も昨年同様、リモートでの審査となりました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため感染対応の強化を継続した。

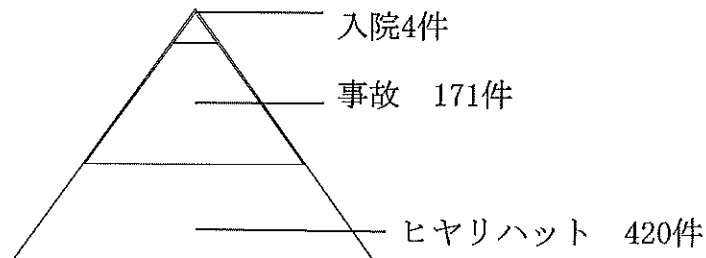
- (3) 消防訓練 年3回

◇ 今年度より動画での視聴が消防訓練となるため1度実施した。

- (4) 看取りケア

◇ 令和3年度も継続してグリーフケアを実施。退所後のご家族よりお電話やお手紙をいただき、好評をいただいております。委員会や葬儀会社と連携してよりよい看取りケアを目指しております。

- (5) 事故・ヒヤリハット



◇ 事故・ヒヤリハットは機能訓練指導員が事故対策委員長をしております。フロアでの事故の検証などを積極的介入して改善しました。今年度は入院事故が4件となったため事故検証の強化をおこなった。